

生涯学習だより



「人きたえあう『ふゆ』……北国に生きる力」

年間テーマ

私のまちは80歳 ~かみしほろの現在・過去・未来~

子どもたちが考える、20年後のかみしほろ

開町80周年記念として、町内全小学校の5年生、6年生が、「かみしほろの未来」というテーマで、未来に向けた作文を書きました。

昨年11月11日に行われた「開町80周年記念式典」では、各学校から推薦を受けた作品の中から、火群編集委員会が最終選考を行った結果、上士幌小学校5年生の河瀬拓真君が推薦され、朗読を行いました。その様子と全文は、広報12月号に掲載されています。

今回は、各学校から推薦を受けたその他の作品を紹介します（作文は原文のまま掲載しました）。

かみしほろの未来にむけて

上士幌小学校五年 塚本つかもと



英麗奈

私は、全国の人々が、かみしほろの自然を見に来て、かみしほろの良さを知つてもらえるような未来になつてほしいです。理由は、かみしほろには、良いところがたくさんあります。が、良いところを知らない人、かみしほろのことをしらない人もいるので、ぜひ、かみしほろに色々な人が来て、かみしほろが有名になつてほしいからです。

全国から来てもらうには、まず、北海道の人たちに、知つてもらうことが大切だと思います。例えば、かみしほろで、キャンプをして、ナイフや和牛を食べてもらうことや、かみしほろのカントリーサインにもなっている気球をつかって、空からかみしほろを見てもらうことをしてほ

しいです。もしも、このことが実現できたら、とても楽しいかみしほろになり、北海道から、どんどん全国にかみしほろの良さがわかつてもらえ、有名になつていくとおもうからです。

また、私は、この自然をもつといかしてほしいです。例えば、森に安全な道をつくり、犬のさんぽなどにつかつてほしいです。夏なら森の木で、暑さをおさえられたり、冬なら森の中の木につもつた雪が、きらきらととてもきれいだと思います。自然の中で過ごす時間は、とても気持ちいいので、自然をもつといかし、活用していくたらいいと思います。

このように、全国の人々にかみしほろに来てもらうために、みんなでいろいろ考え、行ってみたいと思われるようなかみしほろになつてほし

安心、安全な上士幌町

北居辺小学校五年 布谷 彩葉



わたしが30才のころのかみしほろ

萩ヶ岡小学校五年 向井 茜



わたしの家では、牛をかっています。ですから、未来の上士幌町になつてもこのまま自然がいっぱい残つていてほしいです。木がいっぱいあつたり、草がいっぱいあつたり、畑もいっぱいあつてほしいです。

そしてなによりもゴミをすてないでほしいです。ゴミをすてもいいことはないからです。

上士幌町には、ナイタイ高原もあるので、自然のいっぱいあつて、きれいな町になつてほしいです。そして、いろいろ人が見にくくなる町にしたいです。

そして、町民みんなが安心してくらせる町になつてほしいです。人のものをぬすむ人がいなくなつて小さい子からおとしよりの人まで、これからも、上士幌町は、住みよい町になつてほしいです。

20年後がどんな町になつてほしいかというと、森の木も、いっぱい切らないで、ずっと大切にする町になつてほしいです。

なぜそういうのは、一つ目の理由

は、ほろかの遊々の森のように、いっぱい木を切つてしまふと、二酸化炭素を吸うものが、あまりなくなるからです。私は、今年の9月26日にあつた、環境学習の森づくり遠足の時に、学びました。

私たちが木をうえる所は、ものすごくかれはてたすがたでびっくりしました。未来のかみしほろが、このようになつてほしくありません。

そして、二つ目の理由は、木を切つてしまふと、動物も、植物も、消えてしまいます。そうすると、森と

ふれあうことができなくなつてしまふからです。私は、毎日ではありますせんが、木のぼりをしたり、森にさいていたキレイな花などを、おしばなにしたりして、森とふれあつてします。私は、森とふれあつていて、動物と話している気になつています。

木を大切にしてもらえるように、例えば、週に2回ぐらい木をうえるイベントなどをしてほしいです。

私は、木を大切にしていきたいし、大人になつたら、じいちゃんと同じように、森も、木も守るために林業をしたいです。

私たちが木をうえる所は、ものす

ごくかはてたすがたでびっくりしました。未来のかみしほろが、このようになつてほしくありません。

そして、二つ目の理由は、木を切つてしまふと、動物も、植物も、消えてしまいます。そうすると、森と

私がなつてほしいと思う未来の上士幌



上士幌小学校六年 青砥 白奈
あおと きよな

私がなつてほしいと思う上士幌町は、お年よりに優しい町です。なぜかというと、今の上士幌は、お年よりも多く、未来はもっと増えていくと思うので、お年よりに優しい町になつてほしいと思います。

今は、子どもと、お年よりが触れ合える機会がありません。ですから、未来は子どもとお年よりが触れ合えるイベントがあるといいと思います。

それと、お年よりに優しいバリアフリーの施設があると、よりよい町になると思います。そして、体に障がいのある人も使いやすい使いやすいように、エレベーターをつけるとよいと思います。

そのために、今、私たちにできる事は、お年よりのことを考えてみるのが、一番いいと思いました。

上士幌の未来に向けて



糠平小学校六年 濱岡 凪
はまおか なぎ

私が上士幌の未来に向けての作文を書くにあたつて思つた事は、今の温泉がたくさんある自然が豊かな上士幌の今までいいと思いました。

たしかに上士幌は人口が少なくて、お店も少ないとthoughtでした。だつたら、人口を増やせばお店も増えて、

とても、今の自然のままではないと思うので、あまり人が増えない方が良いと思いました。テレビで見ると、東京などの都会だと、大きくて高いビルや工場、家などで、全然木や花、草がなかつたので、私はいやな気持ちになりました。

私は、動物や自然が大好きです。だから今の上士幌の自然と動物を残していきたいなと思いました。

色んなものが上士幌町でかかるから良いと思つたけれど、人が働く場所がないと、上士幌に来れないと思いました。でもふと考えたら、上士幌は自然や温泉が多いと思います。人が増えたら、家や工場などの建物を建てたりするので、自然の木や花などがかられて切られてしまつて、動物もいなくなつてしまつて、このままで良いと思いました。例えば、人が増えて、ある程度自然が残つた

上士幌の未来に向けて

上士幌小学校六年

鳥切 準基



僕が未来の上士幌にあつてほしいのは交通ルールを百パーセント守る上士幌がいいです。理由は、自転車に乗っている人が自動車のように道路で運転しているのを見かけて、「危ない」と思うことが多いからです。

交通ルールを百パーセント守る上士幌にするには、今から注意して交通ルールを守つていな人には「危ないよ」とか声かけしていつたりみんなの見える所に交通ルールについてのポスターをはつていつたらできると思います。それでも交通ルールを守らない人がいれば、手間がかかるけど各家ごとにチラシを配つたり絶対に守ることを心がけて平和な上士幌がいいです。僕も大人になつたら、こういうような事に協力していきたいです。

交通ルールはできるだけ今から絶対に守つて欲しいです。

自然豊かで空気がきれいな町

北門小学校六年

石川 凜佳



今の上士幌町は、木や花が少ないと、暖ぼうや電気、車もたくさん使ってけつこう空気が汚れていると思います。なので、まず木や花が少ないと解消するために木をだいたい一人十本ぐらい植えたらいいと思います。そうしたら緑がたくさん増えるので自然豊かになつて空気がきれいになると思います。そして木を切りすぎないようにします。

次に花は、一人二十本位植えたらいいと思います。花は夜に二酸化炭素を吸つて酸素をはき空気がきれいになるので二十本位植えたらいいと思いました。

次は暖ぼうや電気の使いすぎです。まず暖ぼうの使いすぎはあまり解消できなければ、自分で冬の間にあまり暖ぼうを使わないように、さむかつたらあたたかいからこうをするなどの工夫をしたいです。電気の使いすぎもありテレビを見ないようにすることや電気はこまめに消すことやゲーム機でも遊ばないようにしたいです。

次に自分出来る事について考えてないと

思います。自分に出来る事は、家では一階の電気がついていることが多いのでこまめに電気をけすことや自分の机の電気もこまめに消したいです。他には買い物をする時に近いときは歩いて行つたりしてあまり車を使わないようにします。あまり二酸化炭素が出ないようにしたいです。

次に上士幌町の未来の事についてです。未來の上士幌町は花が歩道の所にたくさんあつて道が見えないくらい植えて、虫もたくさんいて木もたくさんあつて空気がすごくきれいだと思います。そうして世界自然遺産にも登録されるようにきれいにしたいです。そして、温暖化で上士幌町が暖かくなつていよいよ的な町にして、めずらしい花や木もたくさんあるようにしたいです。

私が考えた、未來の上士幌町が大人になって実現できるかわからないけど実現できるようにがんばりたいです。そして、実現できるように今出来ることをしたいです。

年男・年女紹介

平成23年が終わり、辰年の平成24年が始まりました。そこで、このコーナーでは、辰年生まれの年男、年女に焦点を当て、2名の方にこれまでの人生を振り返り、また、これからの抱負を寄稿して頂きました。

私の生涯学習

石川 裕子



辰年に思うこと

菅原 慎一



あなたの生涯学習は、と問われた時、私のしている諸々は、はたして生涯学習と言えるのかと迷います。たんなる趣味として続けてきたものに、コーラス、短歌、書道があり、秘かに私の三大趣味と名付けています。コーラスは約30年、短歌は34年、書道が約30年と私にとっては無くてはならないものになりました。

長く続けられたのは勿論家族の理解があつての事ですが、好きだったという事が大きいと思います。一つ事を長く続けたメリットは計り知れないものがあります。技術の収得、還元、人との出会い、楽しみ、いきがい等です。

また、私の考えですが、何か始めるのに、年齢の早い遅いは無いと思っています。一人家に籠つている時間があればとりあえず何かに挑戦してみては言いたい。それがキッカケとなり、人の和が広がり、生活が豊かになります。

私は一九五二年の辰年生まれだから、今年還暦を迎える。だからといって完成された人間でも、ましてや立派な人間であるわけでもない。今まで怠惰な生活を送つてきただつもりはないが、品行方正でもないありふれた人間の一人だと思っている。平凡な生活をしてきた私にとって、昨年の東日本大震災は大きな衝撃だつた。今までの平凡な生活がいかに大切な事なのかということを教えられだし、東電の原発事故には強い憤りを感じた。理不尽にも生活の場を奪われてしまった人々の苦悩を思うと悲しく切なくなるが、私にはどうすることもできない。一日も早い復興と指揮すべき政治家たちの怠慢に対し厳しい目を向けることをしかできない。

小さなこの町で自然を享受し、人間相互のつながりを大切にし、大言壯語せずゆるく暮らしていくことを思いながら、6度目の辰年を迎えている。

それゆけ! 青年会

【その③⑥】

記：青年会広報委員長 松岡 英樹

みなさんこんにちは、上士幌町青年会です。この度、私たち青年会の今年度の活動を紹介できるスペースを頂きましたので、拙い文章ですが、最後まで読んでいただけたら幸いです。

花壇整備 (5月28日火曜日)

5月、老人クラブや花クラブの方達と、町の花壇に花を植えました。お花を愛してやまない大先輩方は、びっくりするほど仕事が早いんです。僕らが予定の時間に集合すると、なんと既に8割方の作業が終了していました。大先輩方は何時に集合していたのかが気になりつつ、僕らもお手伝いをして、花植えは直ぐに完了しましたが和気あいあいと作業する姿が素敵だなあと思いました。僕がお爺さんになったら、きっと同じ事をしている気がします。有難うございました。



北部三町リーダー研修会 (6月9日木曜日・10日金曜日)

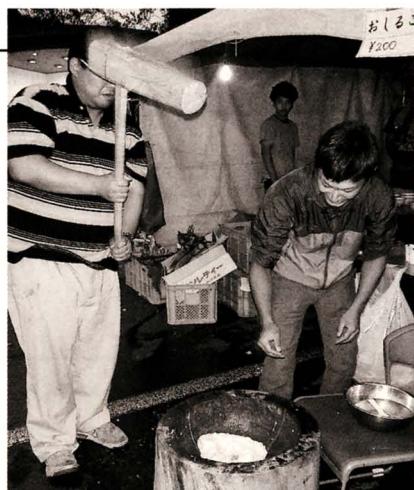


6月、士幌と音更の青年団の役員達と合同で、「北部三町青年指導者研修」を行いました。今年は上士幌町が当番となり、糠平源泉郷にて、山道散策やにじます釣り、焼肉交流会を通じて「リーダーとは何たるか」を朝まで語り明かしたのです。自然の中で危険を回避する知識を身に付けたり、他町と交流して人脈を広げるなど、今後リーダーになった際に非常に役立つ研修でした。

商工生涯学習まつり (9月11日日曜日)

今年も商工生涯学習まつりの会場で、青年会の手作り料理や採れたての野菜を販売しました。低価格の野菜は、毎年大人気なんです。今年は、特に100円のジャガイモつめ放題が、主婦の皆様の心をわし掴みにしたようでした。他にも、50円のキャベツや100円の白菜が人気でした。

毎年恒例のつきたて餅のお汁粉や、新商品の一晩コトコト煮込んだカレーなどの売れ行きも良かったです。来年も出店すると思いますので、皆様ぜひお越しください。



※その他にも、鹿追町との交流会や生涯学習ラリー、成人式でもお手伝いさせてもらいました。また、「思い出ビデオ」として、青年会ビデオの製作も行っています。紙面の関係上詳しくは紹介できませんが、また改めて、紹介できればと思っています。